令和５年度 学校だより　　令和５年１１月３０日

にしはら

１２月号

渋谷区立西原小学校

粘り強く考える

校長　曾我　泉

４年生の移動教室では、初めての宿泊学習で協力する姿や、自分の係の仕事を責任をもって進めようとする姿が見られました。ハイキングでは、困っている子に優しく手を差し伸べる思いやりのある行動に心が温まりました。事前の準備が生きていたことと、実際にやってみる中で、どうしたらいいか自分で考えて行動する様子があり、頼もしく思いました。

６年生は、くみんの広場の鼓笛パレードに出演しました。沿道で多くの方が見守る中、堂々と演奏を披露し、盛り上げました。歩いているうちに、どんどんと音がしっかりしていくのが印象的でした。お互いの音を聞きながら、自分の役割に責任をもつ姿のあらわれと感じました。

様々な学年で、それぞれが責任を果たそうとし、その中で成長が見られることがたくさんありました。一人一人が頑張ることで、みんなの大きな力につながっていくことを、子供たち自身が感じることができたことでしょう。

１１月２５日（土）には、算数の全国大会を本校で実施いたしました。他の学校の先生や大学の先生が西原小学校の子供たちと授業をしました。突然やってきた先生たちに臆することなく、考えを広げていく子供たちの姿が見られました。

今回の授業の多くは、一人一人の考えを集めていくことで、決まりを見つけて一般化したり、もう一歩踏み込んで多様な考えに踏み込んだりする内容でした。普段の授業もそうですが、一度といたらそれで終わりではありません。ここでもやはり、みんなの頑張りを合わせていくことの大切さがありました。粘り強く考え続ける西原小の子供たちの様子を、授業者も全国から集まった参観者もたくさんほめていました。周りの人と共に考えること、あきらめずに粘り強く取り組むことは、他の場面にもつながっていくことでしょう。西原小学校の教職員の前向きに学ぶ姿勢にも称賛の言葉をいただきました。子供も大人も輝く西原っ子として、頑張っています。

１２月の目標

【生活目標】
みんなで使う物を大切にしよう

【保健目標】
寒さに負けない体をつくろう

【給食・食生活】
残さず食べて　寒さに負けない体をつくろう

令和６年度の取組

渋谷区立小中学校では、来年度から、さらに「シブヤ未来科」に力を入れていきます。

今後、子供たちが活躍する社会では、自分で課題意識をもち、様々ある多様な力を取り入れながら、解決していく力が必要となることが予想されます。その力を養うために、「シブヤ未来科」を充実させます。教科横断的（様々な教科の見方・考え方を生かしたり、学習内容を取り入れたり）なカリキュラムを工夫したり、探究的な授業形態を増やしたりし、子供たちがこれからの社会で活躍できる力を付けていくことを目指します。

教科の時数から一割程度を、総合的な学習の時間へ回し、総合的な学習の時間を中心として、主体的かつ探究的な学習を展開していく予定です。

具体的な計画はこれからです。渋谷区の資料では、３～６年生は、午後の授業をすべて探究的な活動にすることを想定していますが、本校は学級数の関係で、変則的な実施になりそうです。まだまだ計画段階ですので、計画ができてきましたら、随時、お知らせしていきます。

教育委員会からの資料も合わせてご覧ください。